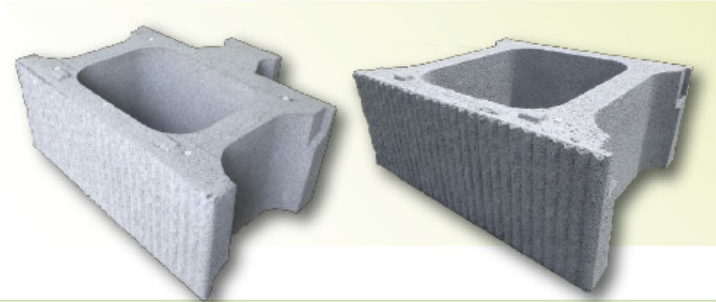


ポラス大型ブロック

しずか



しずかの特長

- ポラスコンクリート大型積ブロックで、施工性・経済性に優れています。
- 胴込部は500SP型・750SP型・1000SP型で2箇所、650型・1000型で3箇所を設けており、胴込材としてコンクリート・栗石・砕石を使用することができるため、安定計算上最も経済的な断面構造とすることができます。
- 控長が1m以上必要な場合は、ブロックと裏込コンクリートを一体化できる構造としているため、より強固な壁体を構築することができます。
- ポラスコンクリートの連続空隙には、排水機能、吸音効果、明度低下の効果が期待できます。

施工例

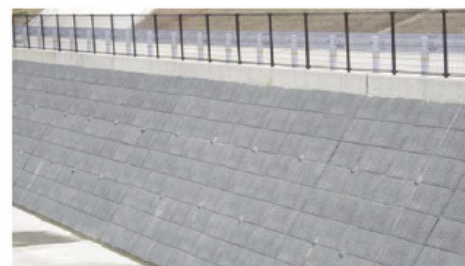
河川護岸



道路擁壁

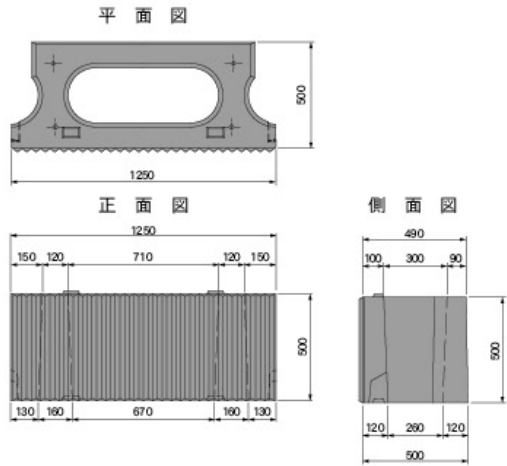


造成工事

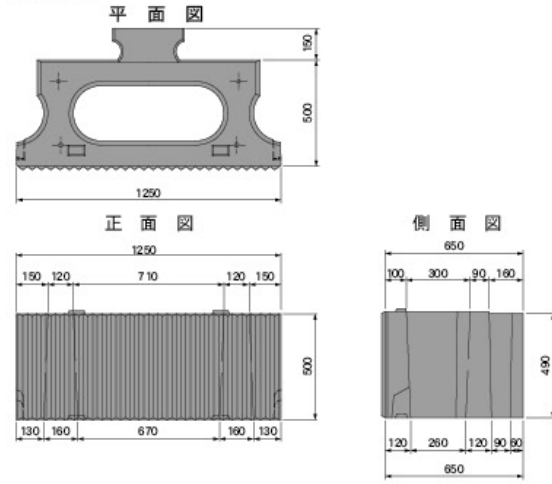


単体図

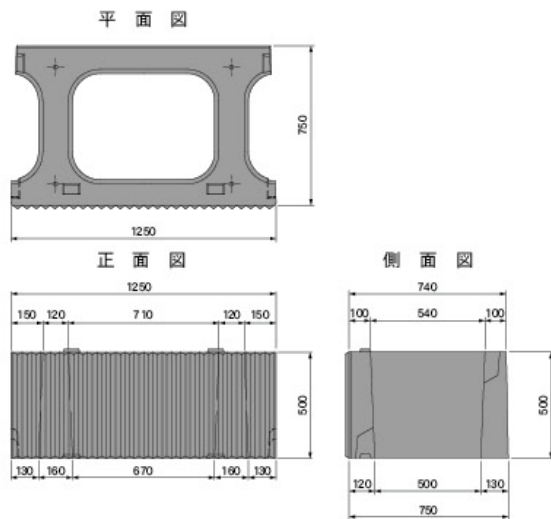
500SP型



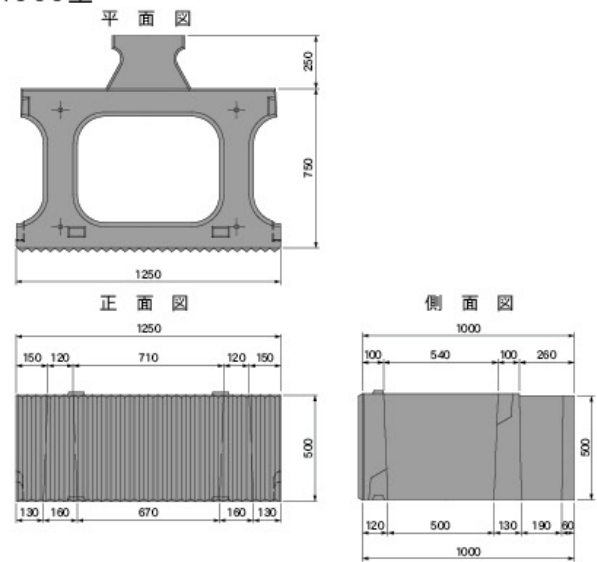
650型



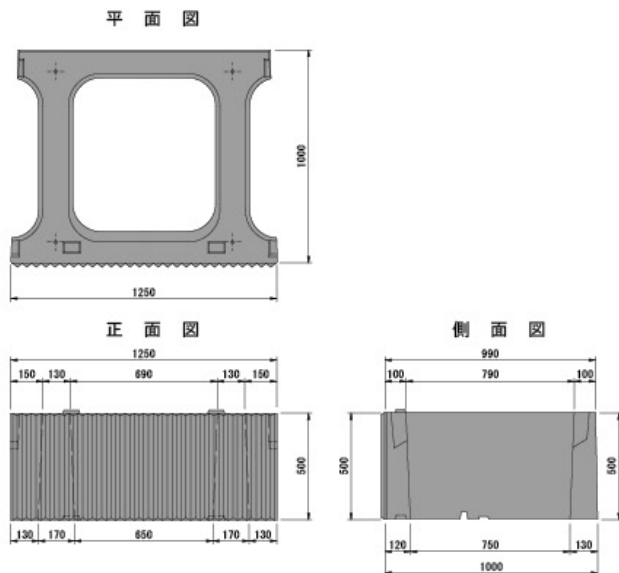
750SP型



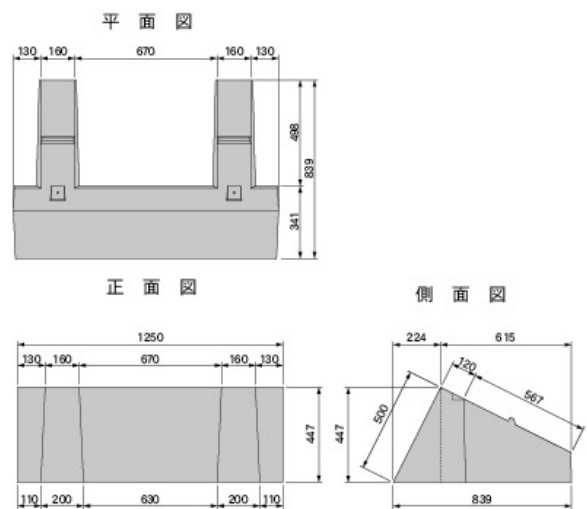
1000型



1000SP型



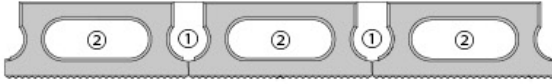
根石ブロック



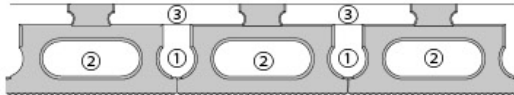
単体図

胴込材詳細図

500SP型



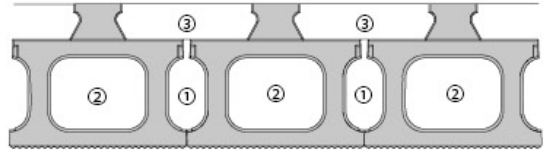
650型



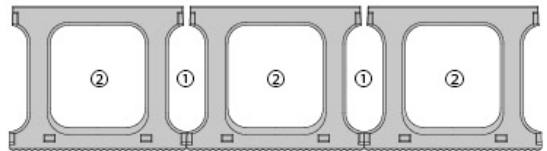
750SP型



1000型



1000SP型



■製品規格

名称	参考質量 (kg/個)	胴込量① (㎡/個)	胴込量② (㎡/個)	胴込量③ (㎡/個)
500SP型	360	0.045	0.095	—
650型	400	0.045	0.095	0.075
750SP型	476	0.066	0.171	—
1000型	558	0.066	0.171	0.123
1000SP型	558	0.108	0.252	—
根石ブロック	369	0.125		

■胴込材

名称	胴込材①	胴込材②	胴込材③
コンクリート	○	○	○
クラッシュラン	×	○	○

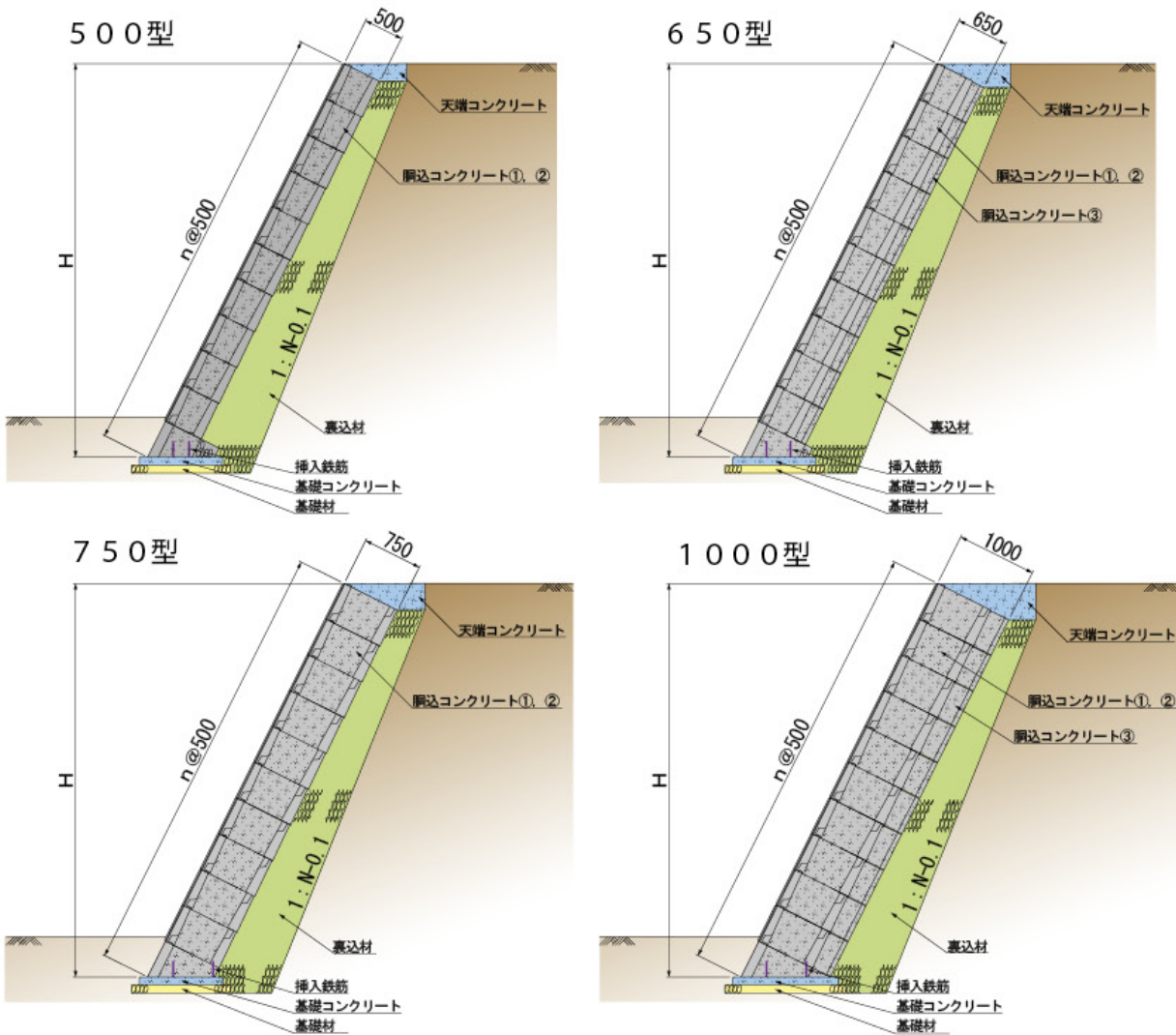
施工手順



- 1 基礎コンクリート打設
- 2 根石ブロックを基礎コンクリート上に据付
- 3 根石ブロックの胴込コンクリート打設
- 4 裏込材の充填
- 5 2段目のブロックを根石ブロック上に据付
※水抜きパイプを所定の位置へ設置

- 6 胴込・裏込コンクリートの打設
- 7 4・5・6の繰り返し
- 8 天端コンクリートの打設

標準断面図



呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	備考
500SP型	360		1250×500× 500	
650型	400		1250×500× 650	
750SP型	476		1250×500× 750	
1000型	558		1250×500×1000	
1000SP型	558		1250×500×1000	
根石ブロック	369		1250×500× 750	

製品明度

平均明度	3.5
証明書番号	0009号

製品テクスチャー

輝度の標準偏差	44
証明書番号	0062号